

教科	音楽	学年	第1学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
歌詞の内容や曲想を捉えて ○校歌 ○夏の思い出 ○赤とんぼ ○アルトリコーダー	13	表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想を感じ取って表現する。	○声の音色や響き、音域と声の出し方との関わりについて理解している。 ○音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢などの技能を身に付けている。	○歌唱表現に関わる知識(声の音色や響き、音域と声の出し方との関わり)や技能(音域に応じた発声、母音の発音、歌う姿勢など)を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
弦楽器の豊かな響きや歌曲の形式の違いを鑑賞しよう ○「春」 ○「秋」 ○「弦楽合奏のセレナード」 ○「魔王」 ○野ばら	10	鑑賞するための音楽的知識や背景を理解する力を身に付け、音楽の良さや美しさを味わって鑑賞する。	○曲想と音楽の構造とのかかわりについて理解している。	○鑑賞に関わる知識を得たり、生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。	○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。
音楽のまとまりを生かして合唱曲を歌おう ○合唱コンクールの曲	8	合唱音楽を表現するための基礎的な技能や奏法を身に付け、曲想やハーモニーを感じ取って表現する。	○曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわりについて理解している。 ○創意工夫を活かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組む。

<p>構成や全体のまとまりを考えながら音楽を作ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽典 ○リズム創作 ○箏を用いての創作 	<p>7</p>	<p>○創作するための基礎的な知識や技能を身に付け、創意工夫を活かした音楽を創作する。</p>	<p>○音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、大賞などの構成上の特徴について、表したイメージと関わらせて理解している。リズムや旋律を作るために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付けている。</p>	<p>○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫している。</p>	<p>○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現と創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。</p>
<p>日本の伝統的な音楽を鑑賞し、ふさわしい音色で演奏しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○箏の演奏 ○鑑賞「六段の調」 ○鑑賞「鹿の遠音」 	<p>7</p>	<p>日本の伝統的な音楽の基礎的な知識や演奏法を身に付け、その良さや美しさを鑑賞し、ふさわしい音色で演奏する。</p>	<p>○日本の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。</p>	<p>○鑑賞に関わる知識を得たり、生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴いている。</p>	<p>○鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽の良さや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとしている。</p>